

## 課題3 自分の英語力について考える

この課題では、自分の英語を分析します。自分の英語力が、練習したり話す準備をしたりすることによって、どのように変化するか考えてみてください。ここでは、英語力の変化を「流暢さ」(fluency)、「正確さ」(accuracy)、「複雑さ」(complexity)の3つの視点から分析します。

- (1) まず、録音機器を準備します。5分程度の音声録音できて、再生可能であれば、ボイスレコーダー、パソコン、携帯電話など、何でも構いません。課題を始める前に一度、試しに録音してみてください。
- (2) 次に、下の「<録音用の問い>」に記されている3つの問いに対する答えを録音します。必ず1分間、録音してください。1分経った時に、まだ話し足りない場合も、必ず1分で録音をとめてください。
- (3) 録音が終わったら、録音した音声を再生します。再生しながら、自分の英語を聞いたままの通りに書き出してください。間違いに気付いても、直さずそのまま書き出してください。
- (4) 書き出した文を見て、次の4つの項目でそれぞれあてはまるものを数え、下のようなく集計表>に数を記入してください。

(a) 流暢さの調査：

流暢さの指標は、「ポーズ(間)」です。「え〜と」「あの〜」または「……(沈黙)」など、約1秒以上、発話に間があいたところは、書き出した英文の該当する場所に印をつけてください。印をつけるためには、録音した音声をくり返し聞く必要があります。そして、間があいた回数を問いごとに数えてください。

(b) 正確さの調査：

書き出した英文を見ながら、動詞の形などの間違いを見つけ、該当する場所を○で囲み、その数も問いごとに数えてください。

(c) 複雑さ(語彙)の調査：

いくつ単語を使っているかを、問いごとに数えます。書き出した全ての文に含まれている単語の数を問いごとに数えてください。同じ単語を繰り返し使った場合も、使った単語の数は1つとして数えます。

(d) 複雑さ(文)の調査：

1つの文に、いくつ単語を使っているかを数えます。文1つあたりに使っている単語の数の平均を、問いごとにだしてください。

<集計表>

	問の数	間違いの数	単語の数	文1つあたりの平均語数
問1				
問2				
問3				

- (5) 集計表に記入した数字をみて、流暢性(問の数)、正確性(間違いの数)、複雑さ(語彙・文)についてどのようなことがわかりましたか。問いによって違いはありますか。違いがあるとしたら、それはなぜだと思いますか。

<録音用の問い>

- ◆ 次の3つの問いに対して1つ1つ英語で答え、その音声を録音してください。
- ◆ 各問いについて英語で答える内容を、1分間、録音してください。必ず1分間、録音してください。1分経った時に、まだ話し足りない場合も、必ず1分で録音をとめてください。
- ◆ ありのままの英語力を分析することが目的です。ですから、途中で何を言ったらわからなくなった場合や、録音した内容に満足がいかなかった場合も、決してやりなおさず、最後まで録音してください。
- ◆ なお、問1と問2は録音する前に話す内容を考えたり、準備したりせず、すぐに録音してください。
- ◆ 録音を提出する必要はありません。

問1(準備なし):

「自分の住んでいる町や地域を、外国から来日する予定の高校生に紹介してください。」

問2(準備なし):

「自分の住んでいる町や地域を、外国から来日する予定の高校生に紹介してください。」

※ 問1と同じ問いです。答える内容も、問1で答えた内容と同じですが、改善したいところは改善してください。

問3(準備あり):

「問1、問2で答えた町や地域とは違う町や地域を選んで、外国から来日する予定の高校生に紹介してください。」

※ 準備に3分をとって、何を話すか考えてから話してください。準備時間内であれば、メモを作っても構いません。また、書いたメモを見ながら録音しても構いません。